



「広尾の子どもは広尾で育てる」

広尾町

中高一貫教育だより

第37号

平成25年

12月20日発行

発行者

広尾町中高一貫教育推進委員会

「色々な仕事があるんだなあ」

インターンシップ発表会開催

(於) 広尾高校

9月18日(水)

深まる職業理解

「仕事をするには、コミュニケーションをしっかりとりとることが大切なのだと分かりました。」「事務仕事は机に向かっていただけではないということにビックリしました」「楽な仕事などないんだと思いました」「わかりやすい説明で、高校生になった時のインターンシップが楽しみになりました」・・・。

9月18日(水)、広尾高校を会場に、「インターンシップ発表会」が開催されました。高校生は、6月17日から19日までの3日間、主に町内の事業所でインターンシップを経験し、そこで学んだ成果を広尾中学校と豊似中学校の生徒へ向けて報告しました。高校生のパワーポイントを利用した趣向を凝らしたプレゼンテーションに、中学生は真剣にメモを取り、多くの質問をして、活発な意見交換ができました。

中学校の2年生はこの後、10月30日(水)に「インターンシップ」を、12月5日(木)にはその成果をお世話になった事業所の方や保護者の方などに報告しました。



「仕事の中で一番大変だったことは何ですか?」「自衛隊ではどのような免許を取れますか?」などの質問をする中学生。



「今回のインターンシップでの経験は、仕事をするものの意義について考える機会となりました。」はきはきと発表する高校生。

中高交通安全啓発運動実施 10月17日(木)

安全運転はみんなの願い



広尾町の交通安全の旗を掲げて、ドライバーに安全運転をうながす、中高の生徒会執行部の生徒たち。



「こんにちは。生徒会の者です。安全運転よろしくお願いします。」笑顔でポケットティッシュとチューインガムを配付。

中高特別活動生徒指導部会主催による「中高交通安全啓発運動」が広尾町本通で実施されました。

車、一台一台に声かけ

「安全運転よろしくお願いします。」中高の生徒会執行部は、警察が路肩に誘導する車一台一台に、ポケットティッシュと眠気覚ましのチューインガムを配付し安全運転を呼びかけました。この日は、中高の野球部員も一緒に活動に参加しました。

SCC (Secondary Collaborated Class) の記録

昨年度まで「PS21」という名称で行われていた中高の乗り入れ授業ですが、今年度から「SCC」と名称を変え新たな取り組みを見せているところです。「S」は「Secondary」で「中等教育」、「C」は「Collaborated」で「協力し合う」、もう一つの「C」は「Class」で「授業」。つまり「中高で協力をし合い授業を作る」という意味です。昨年までの「PS21」は「Part Support(部分的なサポート、つまり「補佐」という意味合いが強い)」でしたが、今年度からは中高が同等に授業に携わりコラボレーションし授業を作っていくという方向性を打ち出し、実践しているところです。

9月～11月の「SCC」の実践記録を紹介します。

豊似中学校



「がんばって!!」 広尾高校吉田先生の一言でやる気ができました!

理科

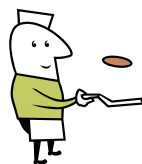
11月8日(金)



『電流や力学などの物理分野と化学分野』を学習しました。なかなか難しい学習内容ですが、豊似中学校の折田先生と広尾高校の吉田先生によるそれぞれの個別指導で、一人ひとり理解が深まったようです。

【豊似中学校3年 川崎望恵さんの感想】

私が一生懸命問題を解いている時、横から吉田先生が話しかけてくれてやる気が起きました。「がんばって!!」その言葉が嬉しかったです。プリントは全部終わることはできませんでしたが、二人の先生が丁寧に教えてくれて、理解したことがたくさん増えました。特に銅と酸素の問題が出来るようになったのが嬉しかったです。



家庭科

11月8日(金)

今回のSCCは『煮込みハンバーグ』の調理実習。目標は「安全面に気をつけること」そして「全員が調理に関わること」のふたつ。最後はできあがった煮込みハンバーグを、みんなで美味しくいただきました。

【豊似中学校1年 高浪祥真さんの感想】

煮込みハンバーグの実習で高校の藤枝先生に、玉ねぎのみじん切りを教えてもらいました。みじん切りのコツは、僕が思っていたよりも難しくて驚きました。今回教えてもらったことを、家でも活かしていきたいです。



煮込みハンバーグのできあがり



広尾高校藤枝先生による、にんじんの切り方の実演。「ここはこう!」



全員で自分のお気に入りの漢字一字を広げての記念撮影。各々の個性が光ります。



渾身(こんしん)の力を込めて筆を動かして書き上げた書は世界に一つだけの書です。

芸術科 書道

11月22日(金)



大きな画仙紙に自分のお気に入りの漢字一字を、心を込めて書にしたためます。着ていたジャージや手も墨で汚れてしまいましたが、ワクワクする体験でした。墨の「黒」と画仙紙の「白」、押印する「朱」の3色ですが、色彩豊かなさまざまな個性輝く作品ができあがりました。

【豊似中学校2年原田珠音さんの感想】

私は今回、初めての大書だったので少しドキドキしながらの挑戦でした。でも高校の織田先生には優しく教えていただいたので、自分にとってすごく良い作品が出来たと思います。今回教えていただいたことをこれから活かしていきたいです。

広尾中学校



授業の内容を説明する広尾高校小椋先生。「擬音を使うといいですよ」



作文の個別指導にあたる広尾高校本村先生。「面白い表現ですね」



体育科

10月8日(火)



伸膝前転の要点を説明する広尾高校内藤先生。「膝をしっかり伸ばして勢をつけるんだ」

マット運動「前転系」のうち「前転」「開脚前転」「伸膝前転」のいずれかを選び、挑戦しました。美しく前転できることを目標に、先生方の指導のもと、生徒は頑張りました。

【広尾中学校1年久野雄太さんの感想】

高校の先生方に来ていただき、マット運動の技を教えてもらいました。とてもわかりやすく、前向きに練習できました。とても楽しい授業をしていただきました。



広尾中学校島先生(左)の熱血指導にやる気を出す生徒たち。「思い切っているよ!」



広尾高校長谷川先生の実演を交えての指導です。「手はここに置いて」



スライドを使って説明する広尾高校中野先生。「ビザ無し交流もあります」

社会科

10月10日(木)

北方領土問題について、中学生に広く知ってもらい、関心をもってもらうことを目標に、広尾高校中野先生がスライドで説明しました。生徒たちは「ビザ無し交流」に関心を寄せていました。

【広尾中学校2年永守千真さんの感想】

中野先生はビデオを見てこうだとかではなく、自分で行ってこうだったんだと経験を話してくださったので分かりやすかったです。本当にありがとうございました。



サポートに入り、生徒の理解度を見る広尾中学校桜井先生。「どんな質問をしてください」



数学科

10月25日(金)



「よくできましたね」広尾高校村山先生の答え合わせです。その間は生徒は緊張しています。

「一次関数のグラフ」について学習しました。問題を解いたら、広尾高校村山先生が待つ教卓へ行って答え合わせです。広尾中学校の大木先生は「高校の先生と学習できたことでいつも以上に真剣に取り組むことが出来ました」と語ってくれました。

【広尾中学校2年芝本涼華さんの感想】

普段の授業とは雰囲気が違って、少し緊張しました。ですが、高校の村山先生から分からないところをていねいに教えて頂き、とても勉強になりました。



村山先生の答え合わせの間、別の生徒の指導に当たる大木先生。「大丈夫、落ち着いて解こう」



毎年実施されている「中高合同清掃」ですが、今年は中高がそれぞれ分かれて行動し、より広い区域を清掃し、袋いっぱいのゴミを拾いました。

初めての海浜清掃

特に、黄金道路付近の海浜清掃は今年度から新たに設けられた区域で、生徒は波の音を聞きながら、大小様々なゴミを拾いました。

また、中学生と高校生は別行動ではありましたが、途中、合流する場面もありました。中学生も高校生もお互いあいさつなどを交わし、協力してゴミを拾い、今回の合同清掃をとおりて親睦を深めました。



黄金道路付近の海浜清掃は、広尾高校2年生が担当しました。色々なものが流れ着いていたことにビックリ。



「いっぱいゴミを拾いました」。ゴミ拾いの成果を前にして、満足な表情を浮かべる中学生。



中高生が合流し、一緒にゴミ拾いをする場面もありました。広尾の中高生が広尾町をきれいにしました。

中高一貫部活動

中学生と高校生、『刺激になる！』



【上】

体格差のある高校生のディフェンスを、見事なドリブルで突破する中学生。



【右】

スピードに乗り、高いポイントから放たれるレイアップシュート。さすが、高校生。

【バスケットボール部】9月14日(土)

練習試合の形式で、広尾中学校と広尾高校の交流を図りました。練習メニューなどを確認し、両校でお互いアドバイスし合うなど有効な合同練習となりました。

中学校のキャプテン佐々木涼平さんは「普段出来ない練習を通して、自分たちの課題が見えてきて、とても刺激になり、良い練習になりました」と語ってくれました。

【吹奏楽部】広尾町サウンドフェスティバル

11月3日(日)

今年で12回目を迎える「広尾町サウンドフェスティバル」。当日は300人を越す町内外からのお客様で会場がいっぱいになりました。この演奏会には中高の吹奏楽部だけでなく、広尾小学校のジュニアウインドアンサンブルの皆さんも参加し、中高生は上級生らしく小学生をリードしていました。

中学校の部長の玉川侑季さんは「先輩たちの笑顔やパフォーマンスを見て、僕たちに足りないものを学べたので参考にして活動していきます」と意気込みを語ってくれました。



合唱も披露した「サウンドフェスティバル」は、様々なジャンルを楽しめる演奏会です。

中高合同の演奏では、日頃の合同練習の成果を、町民の皆さんに聞いて頂く良い機会となりました。

